

内閣府 令和元年度沖縄型産業中核人材育成事業

UX の価値を向上させる施策を提案可能とする人材の育成プログラム

研修生募集要項

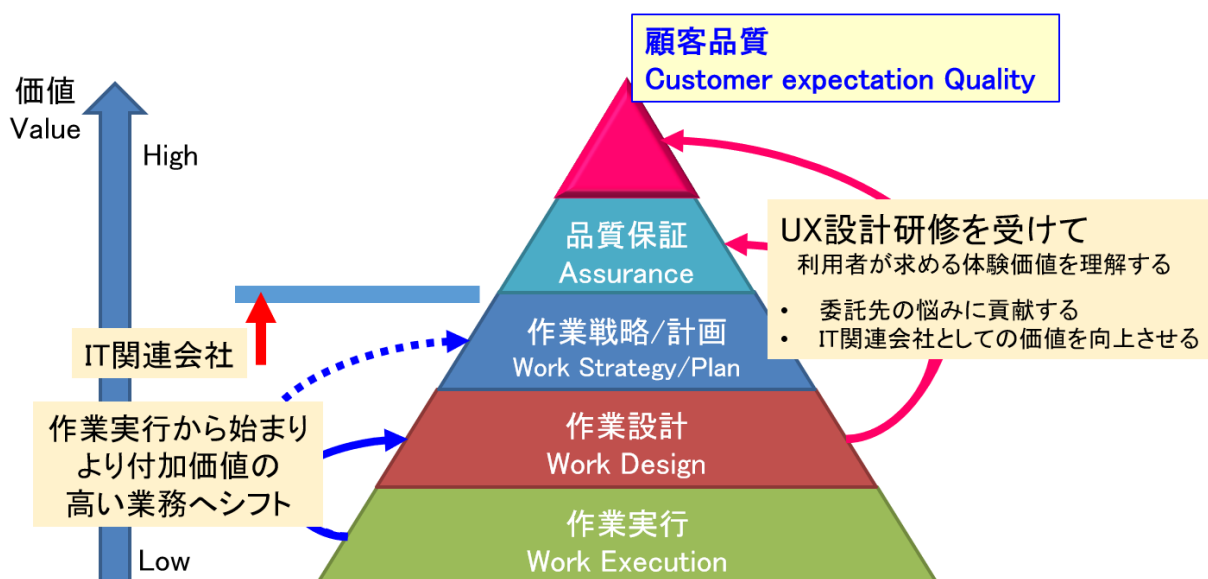
本事業は、一般社団法人 IIOT が内閣府から委託を受け、UX（ユーザーエクスペリエンス）設計技法を習得して担当業務の価値向上を具体化し、製品／システム／サービスに新しい価値を伴うソリューションが提案できる人材を育成するプログラムです。

世界中のあらゆる産業において、IoT や AI などに代表されるデジタル技術を駆使した製品やサービスが急速に増加し、新たなビジネスモデルが次々に展開されています。市場の変化に伴い、ユーザーが製品やサービスを選択する基準も、これまでの機能性や信頼性から、新しい／楽しい経験を価値（品質）として購入するように変化してきています。そのため、提供者側もユーザーに、より高い体験価値を提供することを模索してきています。

本プログラムでは、沖縄県内の IT 関連業務に従事する人材が、これまでの担当業務推進に必要な専門性とは異なる視点の技術を習得して、担当業務の付加価値を向上させるとともに、業務委託者に新しい価値（既存の価値向上を含む）の提案ができる人材を育成します。本プログラムの研修生を以下のとおり募集いたします。

1. 目的

- ① 「ユーザー価値」、「ユーザー体験」という視点から、研修生が担当する IT 業務にこれまでと異なる観点を加えることで、ユーザーにとって不便な状況が発生することを削減する。
- ② 業務委託者に対して、「ユーザー価値」、「新しい体験」など、製品／システム／サービスに新しい価値を提供できるようなソリューションが提案できる人材を育成する。



2. 対象企業

県内の IT 関連企業 : アプリ/ソフトウェア/WEB 開発企業、第三者検証事業者、コールセンター事業者など

3. 対象者

- ① 既存受託業務に従事している経験年数 2 年以上の IT 経験者
- ② 業務を経験するリーダー、マネージャー
- ③ 企画 / 設計関係者

4. 募集人数 : 26 名

5. 研修期間 : 令和元年 9 月～12 月 (「項 12. 研修日程」を参照)

6. 応募条件

- ① 出元企業管理者の推薦があること
- ② 研修期間中、すべての研修を受講できる者
- ③ 本人に受講意欲がある者
- ④ 沖縄県内在住者であること

7. 受講料等 ・ 無料

- ・ 研修生の人件費や交通費等の補助はありません

8. 研修方式

- ① 集合研修 (原則、2～3 週間おきの木曜日&金曜日を 1 回として 18 時～21 時、計 6 回)
- ② リモート研修 (原則、集合研修のあいだの週の金曜日 18 時～20 時、計 9 回)

計 15 回、54 時間

9. 研修スタイル

- ① 参加者によるディスカッションで、課題の共有と相互の気付きを醸成する
- ② ワークショップによって、より実践的な設計技法を体験することで、知識・思考を限られた時間で整理する

10. 場所

浦添市てだこホール 多目的室 2 (一部、他会場を利用)

11. 集合研修日程概要

9月	10月	11月	12月
基本を理解する	手法を習得する	実践的に応用する	
ユーザー体験価値を向上させるために、提供者として達成すべき魅力品質を理解して、実現することを考える(市場の状況、標準の技術など)	<ol style="list-style-type: none"> ユーザー体験を向上させる設計手法と品質(達成)目標設定方法(メトリクス)などを習得する 学び・習得した手法を活用して、ユーザー体験価値を向上させる演習を実践する UX設計を理解して、担当業務にどのように活用するかを考える 		
座学とディスカッション 魅力品質、設計プロセスを理解する 3時間・2回			知識整理 学んだことを整理 3時間・1回
	座学とワークショップ UX設計手法を習得する 3時間・2回	座学とワークショップ UX設計手法を実践する 3時間・2回	
		座学とワークショップ 利用時の品質メトリクス活用方法を習得する 3時間3回	報告会 成果をまとめ、提案する 20分/人

12. 研修日程

月	日	曜	時間帯	時間	内容	研修形式
9月	4日	水	18~21	3	ユーザーが期待する価値(品質)を考える	集合
	5日	木	18~21	3	品質モデル・開発プロセスを理解する	集合
	13日	金	18~20	2	集合研修で課された演習の整理	リモート
	19日	木	18~21	3	ユーザー体験価値を向上させるUX設計手法の活用を知る	集合
	20日	金	18~21	3	UX設計手法のワークショップ: ①手法を知る	集合
	26日	木	18~20	2	集合研修で課された演習の整理	リモート
10月	4日	金	18~20	2	集合研修で課された演習の整理	リモート
	10日	木	18~21	3	UX設計手法のワークショップ: ②現状分析・課題抽出	集合
	11日	金	18~21	3	利用時の品質メトリクスのワークショップ: ①メトリクスを知る	集合
	18日	金	18~20	2	集合研修で課された演習の整理	リモート
	25日	金	18~20	2	集合研修で課された演習の整理	リモート
	31日	木	18~21	3	UX設計手法のワークショップ: ③解決策を考える	集合
11月	1日	金	18~21	3	利用時の品質メトリクスのワークショップ: ②導出方法を理解する	集合
	8日	金	18~20	2	集合研修で課された演習の整理	リモート
	15日	金	18~20	2	集合研修で課された演習の整理	リモート
	21日	木	18~21	3	UX設計手法のワークショップ: ④要求達成を計測する、まとめ	集合
	22日	金	18~21	3	利用時の品質メトリクスのワークショップ: ③応用を体験する	集合
	29日	金	18~20	2	集合研修で課された演習の整理	リモート
12月	6日	金	18~20	2	集合研修で課された演習の整理	リモート
	12日	木	18~21	3	ユーザー体験価値を向上させる知識の整理	集合
	13日	金	18~21	3	成果報告会(20分/研修生)、コメント	集合
合計 54時間					集合研修: 12日 リモート研修: 9日	

13. カリキュラム

1. ユーザーが期待する価値（品質）を考える： 座学とディスカッション	
目的 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・製品/システム/サービスの提供者が造る品質、また、製品/システム/サービスを選択して購入する立場のユーザーが期待する品質を理解する ・担当業務からユーザー体験価値の向上に貢献することを知る
内容	第1章：品質とは何か 第2章：提供者が造る品質を理解する 第3章：ユーザー期待する品質を理解する 第4章：ユーザー体験価値（品質）を向上させることを考える

2. 品質モデル・開発プロセスを理解する： 座学とディスカッション	
目的 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・品質モデルと開発プロセスにおけるグローバルスタンダードを理解する ・開発プロセスにおいて、ユーザー体験価値の向上を実現するために重要なポイントを知る ・改善点を定量化して、改善を継続する方法を理解する
内容	第1章：品質モデル（SQuaRE）を知る 第2章：開発プロセス（ISO/IEC 15288/12207）を知る 第3章：ユーザー体験価値に影響を与える要素を理解する 第4章：ODC分析手法の活用を理解する

3. ユーザー価値を向上させるUX設計手法の活用を知る： 座学とディスカッション	
目的 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・UX設計の基本を理解する ・ユーザー体験価値を向上させるために、UX設計をどのように使用すべきかを理解する
内容	第1章：UX設計とは何か 第2章：ユーザー体験価値をどのように明確化するか 第3章：開発サイクルの造り方 第4章：開発チームの造り方と運用

4. UX設計手法のワークショップ： ワークショップ	
目的 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・UX設計手法を使って、ユーザー体験価値を向上させることを習得する ・対応業務の中で、ユーザー体験価値の向上に貢献する術を考える
内容	第1回：ユーザー体験価値の抽出の流れ（座学とディスカッション） 第2回：現状分析：シーンを特定、課題抽出する（現状の利用シナリオ） 課題抽出、重みづけ、構造化、タスク分析 第3回：解決策を考える：提供価値と提供方法（あるべき利用シナリオ） を創出し要求を抽出する 第4回：要求の達成状況を計測するための基準を導く まとめと担当業務への適用を考える

5. 利用時の品質メトリクスのワークショップ： ワークショップ	
目的 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用時の品質メトリクスの基礎的な知見を理解する ・ユーザー体験価値を向上させるために必要な目標値の導出を体験する ・担当業務での活用が期待できる品質メトリクスを導出できる知見を習得する
内容	第1回：品質メトリクス基本の理解、要求を明確にする 第2回：改善のための機能要求と非機能要求を導く（要求定義） 第3回：改善施策を考え、評価基準を明確にする（目標値設定）

6. ユーザー体験価値を向上させる知識の整理	
目的 (ねらい)	・ここまで学んで習得したユーザー体験価値を向上させるUX設計手法を整理して、担当業務に価値向上をどのように使用するかを考える
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な研修教材を用いず、参加者からの質問について、参加者で考えて、答えを導き出す ・講師からの問いに、参加者が考えて、各々の考えを共有する ・UX設計手法を担当業務に活用することを自ら考える

7. 報告会	
目的 (ねらい)	・ユーザー体験価値を向上させるUX設計手法の考え方を利用して、担当業務を改善することを考えて、自分でリードして実行する施策と計画を立案する
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が自ら考えた「改善施策と実施計画」の提案を報告して質疑を受ける ・持ち時間 20分（10分報告、10分質疑対応）

14. 応募方法：希望者は、上長の承認を得て上長経由でお申し込みください。上長は（希望者が複数の場合、全員の応募申込書を取り纏め）推薦状と合わせて、IIOT事務局へメールにてお申し込みください
- i. 研修生の応募申込書（IIOT_応募申込用紙（研修生用））
 - ii. 管理者の推薦状（IIOT_研修生推薦状（管理者用））
15. 応募期限：令和元年（2019年）8月23日（金）17:00
16. 選考方法：事務局との面談または電話インタビュー
 応募者多数の場合、事務局と出元企業の管理者間で調整を行う場合があります
17. 参加要件：すべてのカリキュラムに参加すること
18. 修了証の交付：すべてのカリキュラムに参加し、別途、実行委員会で規定する修了基準を満たした研修生には、内閣府担当大臣名で修了証が交付されます。
19. 事業終了後のご協力：研修生がプログラムで習得した知識や技能について、職場での活用状況、業務内容や業績に与えている影響などについて、IIOTからプログラム修了者及びその上長へ年に1～2回アンケートをお願いするので、ご協力をお願いします
20. 教材開発及び講師担当
 一般社団法人UX設計技術推進協会（UXDQ）
21. 事業説明会の開催
 UXDQの講師も列席し、Q&Aを含めた事業説明会を開催します。
- ① 8月6日（火）11:00～12:00
 沖縄IT津梁パーク アジアIT研修センター 一般研修室：PC無し（25名）

うるま市字州崎 14-17

- ② 8月7日（水）10：00～11：00 沖縄県立博物館・美術館 県民ギャラリースタジオ（30名）
那覇市おもろまち 3-1-1

参加ご希望のかたは、開催場所（①または②）、社名、氏名、参加人数をメールにてお申込みください。また、UX 設計に関する相談事や具体的な話を聞きたい等のご希望がございましたら講師を交えた個別面談を調整しますので、メールにその旨ご記入ください。

22. 問合せ先：一般社団法人 IIOT 事務局 翁長 亨／宜壽次 正徳

電話：098-938-0835

メール：info_jinzai@iiot.or.jp

以上